

Reference D8

Japanese Utility Model Publication No. 3,031,090

Registration date: 28 August 1996

Issue date: 12 November 1996

Application No.; 08-5004

Filing date: 10 May 1996

Owner: KANKO KOHYO KK, Tokyo

Title: Portable receptacle of liquid soap

Claims:

1. A portable receptacle of liquid soap comprising:
a receptacle body 1 which can contain a predetermined quantity of liquid soap 18;

a pump 5 which can be disengaged from the receptacle body 1 and is provided with a discharge nozzle 6 of said liquid soap 18;
and

a lid 11 which covers the discharge nozzle 6 of the pump 5 and is openable/closable by a hinge 12;
and the receptacle itself is compact in its entirety.

2. A portable receptacle as claimed in claim 1, wherein the lid 11 is connected to a barrel 13 by the hinge 12, the outer diameter of said barrel 13 is made approximately the same as those of the lid 11 and the receptacle body 1, and the barrel 13 is disposed in the outer periphery of the pump 5 so as to be disengageable from the receptacle body 1.

In the drawings:

- 1...Receptacle body
- 2...Opening
- 3...Neck portion
- 4...Screw
- 5...Pump
- 6...Discharge nozzle

BEST AVAILABLE COPY

- 7...Outer cylindrical portion
- 8...Screw
- 9...Head portion
- 10...Sucking pipe
- 11...Lid
- 12...Hing
- 13...Cilindrical body
- 14...Engagement projection
- 15...Shoulder portion
- 16...Groove
- 17...Seal member
- 18...Liquid soap

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3031090号

(45) 発行日 平成8年(1996)11月12日

(24) 登録日 平成8年(1996)8月28日

(51) Int.Cl.⁴

A 4 5 D 34/04

識別記号

5 5 0

庁内整理番号

F I

A 4 5 D 34/04

技術表示箇所

5 5 0

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願平8-5004

(22) 出願日 平成8年(1996)5月10日

(73) 実用新案権者 593196791

菅公工業株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目7番1号

(72) 考案者 高島 一郎

東京都新宿区西新宿2丁目7番1号

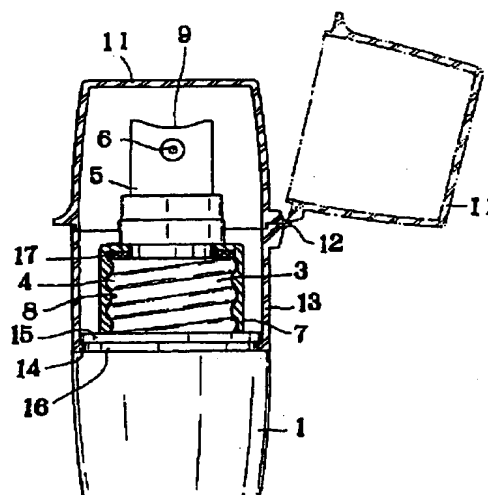
(74) 代理人 弁理士 杉山 泰三

(54) 【考案の名称】 液体ソープの携帯用容器

(57) 【要約】

【課題】 外出先で手軽に携帯した液体ソープを使って手洗いなどをできるようにする好適な液体ソープの携帯用容器を提供する。

【解決手段】 所要量の液体ソープを収納可能な容器本体1と、その容器本体1に着脱自在で液体ソープの吐出ノズル6を設けたポンプ5と、そのポンプ5の吐出ノズル6を覆ってヒンジ12により開閉自在な蓋11とから成り、全体が小形であることを特徴とする。



BEST AVAILABLE COPY

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 所要量の液体ソープ18を収納可能な容器本体1と、その容器本体1に着脱自在で液体ソープ18の吐出ノズル6を設けたポンプ5と、そのポンプ5の吐出ノズル6を覆ってヒンジ12により開閉自在な蓋11とから成って、全体が小形であることを特徴とする液体ソープの携帯用容器。

【請求項2】 蓋11をヒンジ12により筒体13に連結し、その筒体13の外径を蓋11及び容器本体1と略同一となし、その筒体13をポンプ5の外周部に配して

【図面の簡単な説明】

【図1】 蓋を閉じた状態の斜視図である。

【図2】 断面図である。

【図3】 蓋を開いて液体ソープを吐出する状態を示す側面図である。

【図4】 分解斜視図である。

【符号の説明】

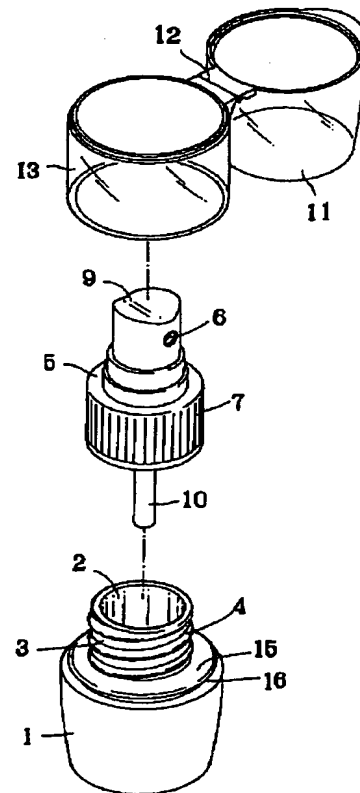
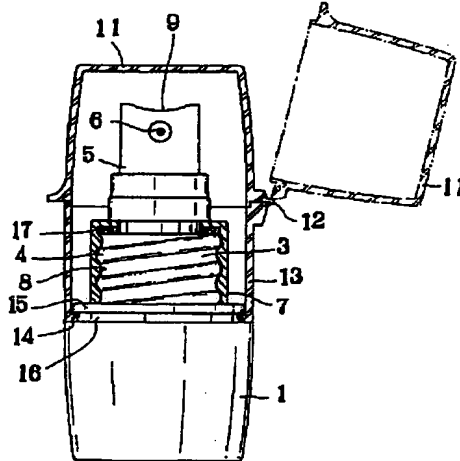
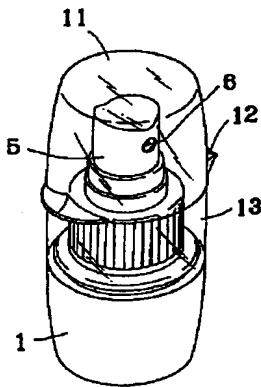
*

- * 1 容器本体
- 2 開口
- 3 首部
- 4 ネジ
- 5 ポンプ
- 6 吐出ノズル
- 7 外筒部
- 8 ネジ
- 9 頭部
- 10 吸い上げパイプ
- 11 蓋
- 12 ヒンジ
- 13 筒体
- 14 係合突起
- 15 肩部
- 16 溝
- 17 シール部品
- 18 液体ソープ

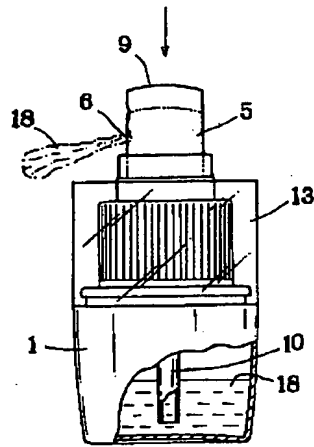
【図1】

【図2】

【図4】



【図3】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は、液体ソープの携帯用容器に関する。

【0002】

【従来技術】

近年、ボディシャンプー等の液体ソープが普及している。この液体ソープは使用量だけ取り出せるので固形石鹸より使いやすいこと、容器に封入されているので固形石鹸のように汚れることがなく衛生的であること等の利点を有している。しかしながら、従来、外出する時に液体ソープを収納して手軽に携帯できる好適な容器が存在せず、旅行などには固形石鹸を携帯するか、旅先のホテルなどに備えてある石鹸を使用しなければならなかった。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

そこで本考案は、外出先で手軽に携帯した液体ソープを使って手洗いなどをできるようにする好適な液体ソープの携帯用容器の提供を目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記の目的は本考案によって、すなわち、所要量の液体ソープ18を収納可能な容器本体1と、その容器本体1に着脱自在で液体ソープ18の吐出ノズル6を設けたポンプ5と、そのポンプ5の吐出ノズル6を覆ってヒンジ12により開閉自在な蓋11とから成って、全体が小形であることを特徴とする液体ソープの携帯用容器によって達成することができる。

【0005】

また、上記の構成に加えて、更に、蓋11をヒンジ12により筒体13に連結し、その筒体13の外径を蓋11及び容器本体1と略同一となし、その筒体13をポンプ5の外周部に配して容器本体1に対し着脱自在としてもよい。

【0006】

【実施例】

BEST AVAILABLE COPY

以下、図示した本考案の一実施例について説明する。まず、図中、符号1がプラスチック成形品の容器本体である。この容器本体1は、図4に示すように、上端に開口2を有し、又、首部3にネジ4を形成している。

【0007】

次に、符号5がポンプである。このポンプ5は液体ソープ18の吐出ノズル6を一体的に設けている。このポンプ5は上記の容器本体1の首部3に着脱自在である。すなわち、ポンプ5の外筒部7の内面には、図2に示すように、容器本体1の首部3のネジ4と螺着するネジ8を設けている。このポンプ5は、容器本体1に取り付けられた状態で、その頭部9を下方へ押すことによりポンピング作用で吐出ノズル6から液体ソープ18を一定量毎吐出させることができる。なお、図中、符号10は液体ソープ18の吸い上げパイプである。このポンプ5を構成する部品も全てプラスチック成形品である。このポンプ5と容器本体1との接続部には、図2に示すようにシール部品17を取り付けて液体ソープ18の漏出を防止している。

【0008】

次に、符号11が蓋である。この蓋11はヒンジ12を介して筒体13に対し一体的に且つ開閉自在に連結している。この蓋11及び筒体13も共にプラスチック成形品であり、そして透明である。筒体13は、その外径が蓋11や容器本体1と略同一である。この筒体13は容器本体1に対し着脱自在である。すなわち、筒体13の下端開口縁の内面側には、図2に示すように係合突起14を設けていて、容器本体1の肩部15に設けた溝16にその係合突起14を弾性変形により嵌脱自在としている。筒体13を容器本体1に取り付けた状態では、筒体13はポンプ5の外周部を覆う状態となるが、ポンプ5の頭部9と吐出ノズル6は筒体13の上方へ突出する。このポンプ5の頭部9と吐出ノズル6は蓋11によって覆われる。

【0009】

使用する場合、すなわち、液体ソープ18を吐出させるときは、図3に示すように蓋11を開いて、ポンプ5の頭部9を下方へ押せばよい。なお、図3において、開いた蓋11は筒体13の裏側に隠れている。また、容器本体1に収納さ

れた液体ソープ18が減って補充する場合は、筒体13を容器本体1から外し、更に、ポンプ5を容器本体1から外して、液体ソープ18を容器本体1に対しその開口2から注入すればよい。

【0010】

【考案の効果】

本考案の液体ソープの携帯用容器は叙上の通りであり、外出時に液体ソープを手軽に携帯することができ、外出先の公共施設等に備えられた石鹸、特に、汚れて不衛生な固形石鹸や、水分でふやけた固形石鹸などを使用する必要がなく、不愉快な思いをしなくて済み、携帯した好みの液体ソープで清潔に且つ快適に手洗いなどを行なうことができる。また、蓋11をヒンジ12で連結してあるので、開閉が容易であり、又、蓋11のみが外れて紛失することがないので、携帯が不可能になることもない。

【0011】

また、請求項2記載のように構成すれば、筒体13の存在により外面が略ストレートになって凹凸が無くなるので、バッグ等に詰め込む場合に都合がよい。また、筒体13によってポンプ5がカバーされるので、バッグ等の中でポンプ5が他の物品に当たって動くことにより容器本体1から外れて液体ソープが漏れ出す等の事故を防止することができる。更に、蓋11をヒンジ12によってポンプ5に連結するのは形状の制約によって困難であるが、筒体13を用いることによって、蓋11をヒンジ12を介してその筒体13に対し容易に連結することができ、製造も容易化するという利点がある。